



令和2年7月27日

No.24号

山形市立第四小学校  
校長 日高 伸 哉

<児童数 204名>

TEL 623-6019

## 蝉の羽化 “いのちの誕生”

～自然豊かな校庭の恵み～ 7/21 (火)

7月21日(火)の中間休みに、6年あおぞら学年の鈴木煌佑さん達が「校長先生！蝉の羽化見れるよ。」と声をかけてくれました。体育着の肩には蝉の抜け殻が着いています。グラウンドで陸上の学習をして戻る途中に発見したようです。すぐさま、正面玄関から飛び出すと、陸上の講師をお願いしている高橋利雄さんに導かれ、グラウンドと校舎の間にある校庭の「きささげ」の木の下を通ってお目当ての場所へ…。

おおっ！ミンミンゼミです。

息をのみながら、そうっと近づき1枚パシヤッ。

蝉の羽化(正確に言うと羽化直後)を見たのは、何年ぶりでしょうか。皆さんと同じ小学生の頃は、夏休みになると早朝から家の周りに、羽化直後のたくさんの蝉がいたのを思い出します。教師になってからは、オニヤンマの羽化やモンシロチョウの羽化、カブトムシの羽化を教材にして、子どもたちと見てきましたが、校庭の自然の中での羽化は初めてのことでした。(長く行政にお世話になったというハンディもありますが…)地面に目を移すと、たくさんの穴があります。長年、この地面の下で幼虫として暮らし成長してきたのだらうなあ。しみじみと巣穴をのぞき込んでいました。程よくして、3年生が外遊びに来たので声をかけ、しばらく観察してから校内に戻りました。



蝉は、幼虫時代が長く成虫時代はあっという間です。卵からかえった幼虫は、木から地中に潜り脱皮しながら長い年月(3～17

年)をかけ成長します。時が来て、暗い地中から出てきて羽化(一般的には日没から深夜にかけて)します。成虫として1～2週間の寿命(最新研究では1ヶ月程度が定番)。鳴くのは雄(オス)の蝉。

梅雨明けが待ち遠しいところですが、明けたら、蝉たちも一斉に鳴き出すことでしょう。羽化を教えてくれた「優しい心」の6年生に感謝。さすがです。

